

商店建築

SHOTENKENCHIKU Monthly Magazine of Shop Design & Interior Design Vol.51 No.8

2006
8



漆黒に浮かぶ面の光

ブティック アクシア エクスレイトッド

照明計画/オンアンドオフ 山口晋司

設計/大塚ノリユキデザイン事務所
施工/長谷川
撮影/平井広行
(06年5月号)

従来の光源をフラットに演出

「アクシア」2店舗目となる表参道ヒルズ店は、ライティングデザインをするにあたり好条件であった。地下1階のドライエリア的な空間にあり、他店舗や共用部の照明や自然光の影響をほとんど受けず、設計者の空間イメージを完結できる無（闇）の条件を整えていた。

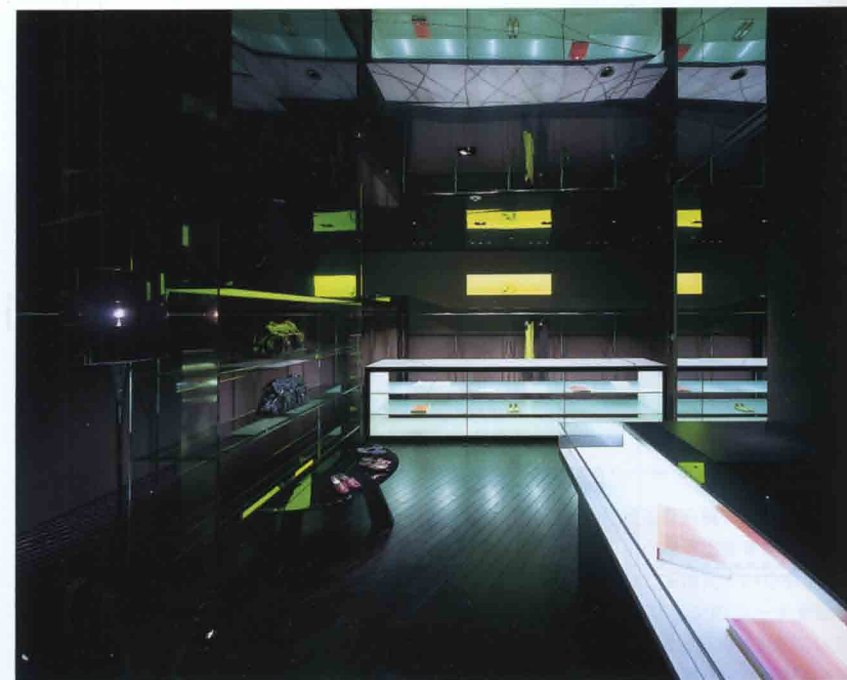
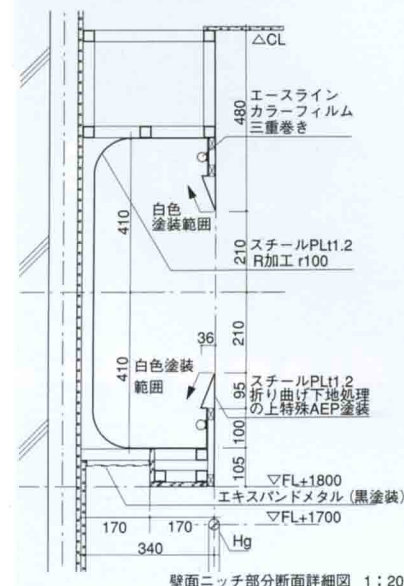
壁面の黄色く光る面は、ディスプレイできるニッチになっており、ニッチ内にイエローゼラチンフィルターを取り付けたFLを上下間接照明にしている。ニッチ内の光があふれ出て室内全体に影響しないよう、ぎりぎりの照度に抑え、表面張力で留まっているかのようにニッチ内に光をとどめた。また、ニッチ奥の壁面の入り隅をRにし、どの角度から見ても常に奥行き感を感じさせない2次元的な技法を用いた。

次に中央のディスプレイテーブルの天板の灯りは、大塚氏の「天板だけを照らし、床に光りをこぼしたくない」というリクエストに応えるため、プロジェクタースポットを用いた。この器具は、光をトリミングできるので、天板の大きさに合わせて照射面をカットし、なおかつ中心と周辺部の照度も均一にあてられるので、直下に光を落とすと、テーブルにライティングされていることも気付かない。更に投影した幾何学パターンは、あたかも天板に模様を描かれているように錯覚させる。こうした不思議な演出がたくさんある店なのである。

プロジェクタースポットライトやFLは目新しいハードではないが、使用するコンセプト・環境によっては新たなライティングシーンを創り出すことができる。

(山口晋司)

1. 店内奥の壁面開口部。開口部分のエッジを鋭角な断面に、また開口奥の端部は水平にする事で、陰影のないフラットな光を演出。光源は、黄色フィルター付き蛍光灯
2. 商品に投光するスポットライトを除いて直接照明は限られている。天井には、天板のプロジェクションから映り込んでいる



データ

●所在地:東京都渋谷区神宮前4丁目12-10 表参道ヒルズ本館地下1階 ●床面積:68.51㎡ ●業態:レディースセレクトショップ ●開店:2006年2月11日 ●電話:(03)5410-0120 ●経営者:太田産業(株) (株)フォーサイト ●仕上げ材料:床/ローズウッドフローリング乱貼り染色ウレタン塗装ツヤ消し 壁/PB下地AEP 天井/PB下地カラステンレスレーザーカット敷き目貼り
照明器具
●プロジェクタースポットライト/幾何学模様パターン装着ハロゲン200W ニッチ部分/イエローゼラチンフィルター取り付け蛍光灯 グレアレスダウンライト/ダイクロハロゲン50W (マックスレイ)

業種特集 1
ダイニングレストラン
業種特集 2
クリニック

エレメント特集 LIGHTING TREND 特集 PRODUCT DESIGN